

## 給食週間 マナーの見直しを

今週は給食週ンを迎えています。

給食室「献立表」でご覧いただいているかと思いますが、今月は「郷土の食べ物を知ろう」という給食目標にあわせて「愛知県」「鹿児島県」「沖縄県」献立の日が設けられ、味噌カツ・つけあげ（さつま揚げ）・クープイリチー（昆布炒め煮）などの日本各地の郷土食を味わわせていただいています。

先月は、「北海道」「秋田」「群馬」の郷土料理もいただきました。いながらにして麻績小の給食は、「日本各地の郷土料理の宝石箱や〜！」です。

そして、26・27日の二日間は、みんな楽しみな「セレクト給食」です。26日の『鶏の唐揚げ』『エビフライ』の選択では、低学年では『唐揚げ』が圧倒的多数の支持なのですが、学年があがり、更に職員の年齢層に至るまでに『エビフライ』へと嗜好が推移していく（麻績小調べ）ことが、下寄先生のお話から明らかになりました。

21日（木）児童集会では健康委員会の皆さんが、給食時のマナーについてあらためて呼びかけ、確認をしてくれました。おいしく楽しい給食ですが、そこをきちんと守れないと、「みんなが」気持ちよい給食ではなくなってしまいます。おいしい給食をいただけることに感謝しながら、「食育」の『育』に込められた意味を大切にしていきたいと考えます。

## 6年生『ビブリオバトル』へ

昨年度から、筑北中学校から声をかけていただき、6年生が『ビブリオバトル』という中学校の行事に参加しています。

知った顔の中学生とはいえ、そこは筑北中に出かけて、しかも中3生までの先輩の皆さんにまじっての活動ということで、昨年度の6年生も緊張感が高かったことを覚えています。でも、自分のプレゼン（本の紹介）をやり遂げてほっとした安心感や満足感、なかには『チャンプ本』とって自分の紹介した



③番さん ふっさふさですね



伝わる 6年生の前向きさ

本が、グループ内の相互指名で一番の得票数となった達成感を味わえた子どもさんもあり貴重な経験となったことが感じられました。

今年度もぜひ、ということで中学校より事前説明のために図書司書の西沢先生（本校5年担任の西沢先生の奥様です）が来校されました。準備の仕方や、当日の様子など説明を聞くと、6年生からは、「プレゼンの順番はどう決めるのですか」「発表時間が過ぎてしまったらどうしたらいいですか」などの質問が出されました。そこから6年生の皆さんの前向きさが感じ取れました。さすが、6年生。

12月には本校の「読書旬間」も始まり、6年生にとっては、ビブリオバトルで紹介する本を選ぶという、新たなめあてが加わることとなります。数ヶ月後に迫る中学校生活のスタートに向けても、価値ある体験となることと期待しています。

## **読書旬間が始まります**

児童集会で図書委員会の皆さんが、読書旬間に向けて発表をしました。『大きなかぶ』の劇に、『シャーロック・ホームズ』『赤ずきん』『トランプ（不思議の国のアリス）』『ぐりとぐら』『孫悟空（西遊記）』が登場して、みんなで力を合わせて大きなかぶを抜きました。そして、登場人物がその本の紹介をしました（抜かれたかぶは食べられるのが



【保護者の皆様に『親子読書』のお願い】

いやで逃走中だそうです）。

「春の読書週間」と同様に、『家庭読書』のカードが配布されます。旬間後に新海先生や担任の先生にお願いして、わたしも全校児童の読書カードを読ませていただくことを楽しみにしています。お家でのお子さんの読書の様子が伝わってきます。「テレビを消して親子で本に向かうよい機会となりました」「わたし（お母さん）や弟（妹）に読み聞かせをしてくれました」「息子（娘）が薦めてくれた本をいっしょに読んで、楽しませてもらう機会になりました」などのうれしいコメントに出会えることもあります。それぞれのお家によって状況は異なるので、無理をしていただく必要はありません。でも、お忙しいなかではありますが、この旬間が子どもさんにとって、「ご家族とともに本に親しむことのできる」2週間となりますよう、どうか保護者の皆様のご協力をお願いいたします。